

## 2010年春闘 - 「新しい変化」への1歩を

2010年1月

岡山県労働者学習協会 長久啓太

ブログ「勉客商売」 <http://benkaku.typepad.jp/blog/>

「春闘(しゅんとう)」と聞いて、なにを考えますか...?

- 「春闘って、なんでしたっけ」
- 「毎年同じような話を聞くなあ」
- 「どうせ政治家は変わらないよ」
- 「労働組合には関わりたくありません」
- 「がんばれがんばれと言われても、日々の生活や勤務でクタクタです」
- 「なかなか展望がもてません」
- 「社会や政治の大きな話より、職場の問題をなんとかしてくれ」
- 「今年も自分にできることはやりたい」
- 「いまこそチャンス！今年ががんばりがいがある」

みなさんの思いや考えが、  
コミュニケーションと討議の出発点。

### 【春闘とは】

1955年に、8つの産業別労働組合が全国いっせいに「賃金の引き上げを求める要求」を各社に提出し、交渉を開始したのが始まり。全国いっせいに労働組合・諸団体が共同して行動することで、歴史的にも大きな役割をはたしてきたたかいです。賃上げだけでなく、労働問題全般、社会保障など国の制度・政策をめぐる要求をかかげて、たたかわれてきました。

### 労働組合の存在意義とは

- \* それぞれの認識の違いはあたりまえ(それぞれ根拠がある)
- \* 労働組合は、英語でユニオン。語源は「Unite」。  
「...を結合する」「...を結びつける」「1つになる」「団結する」

### 労働組合のかなめ ... **要求での一致と団結**



- \* 要求の「起点」は、みなさんのリアルな生活実感、労働実感
  - ・ 思いを言語化する。職場で、他職種間でコミュニケーション。他人事を自分事にする。
- \* 現実を変えるために、問いかけ、呼びかけ、行動することを「活動」という。
- \* 「おかしいじゃないか、なんとかしようよ」と議論できる場。

### 本日の学習のポイント

私たちの苦しさの「みなもと」と、それを解決する方向性を考えます。  
「要求」をねりあげる議論のベースとなる「共通認識」をつくりたいと思います。  
納得と共感が、行動へのエネルギー。さらなる議論と学習のきっかけに。

## 一。医療・福祉をめぐる諸問題の「みなもと」

### 1. 社会保障にお金を使わない異常

日本の社会保障給付費（GDP費）はヨーロッパ諸国よりも大幅に少ない

\* **日本 19.09%**。イギリス 22.03%、ドイツ 27.14%、フランス 29.40%、スウェーデン 30.12%  
（2005年 - 国立社会保障・人口問題研究所資料より）

\* 2002～2009年まで、毎年社会保障費の自然増分 2200 億円を削減。

\* 診療報酬、介護報酬の抑制。患者・利用者の自己負担増。後期高齢者医療制度。

一方で...

軍事費 5 兆円は聖域。米軍への思いやり予算毎年 2200 億円。米軍再編費も負担。  
大企業・大資産家への優遇税制（法人税率の引き下げ、証券優遇税制の引き下げなど）。これらの減税をやめ、1998 年のレベルに戻せば新たに 8 兆円の財源。

**どこから税金を集め、どこに使うのか。これは政治の意志の問題。**

### 2. 労働者に利益を還元しない異常

貧困と格差をひろげたー「いのちの格差」に直結

\* 労働者の雇用者報酬（賃金）は、先進国で唯一のマイナス

・年間 1 人あたり平均 1998 年 464.8 万円 2008 年 429.6 万円（マイナス 35.2 万円）

・OECD 加盟国（いわゆる先進国グループ）で比較可能な 28 カ国中、1997 年から 2007 年までの 10 年間で雇用者報酬が減少した国は、日本ただ 1 国のみ。

\* 非正規労働者の激増、リストラ・賃下げーそれをテコにしての内部留保の膨張

・非正規労働者は、1998 年 1,173 万人 2008 年 1,760 万人

・派遣労働の自由化 - 「ほしいときに、ほしい人数だけ」

・失業者数は戦後最悪の水準

\* 結果、医療にかかれぬ、福祉からこぼれおちる労働者・国民が増えている。

一方で...

企業の内部留保（ためこみ金）は、1998 年の 209.9 兆円から、2008 年の 428.6 兆円に倍増（その半分近くは、資本金 10 億円以上の大企業）。

**大企業に、その社会的責任を果たさせる。**

どう転換するのかー内需拡大のプラス循環に

最低賃金「時給 1,000 円」の実現（5 兆 9000 億円必要）

正社員になりたい非正規を正規化（7 兆 7400 億円必要）

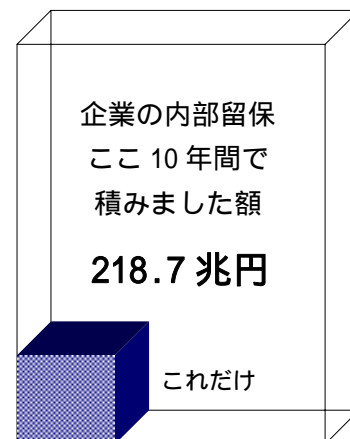
サービス残業の根絶、完全週休 2 日制の完全実施、  
有給休暇の完全取得の実施など、働くルールの確立

により、150 万人の雇用創出（12 兆 9000 億円必要）

\* 2009 年 11 月、労働運動総合研究所試算

+ + = 必要な金額 26 兆 5400 億円。

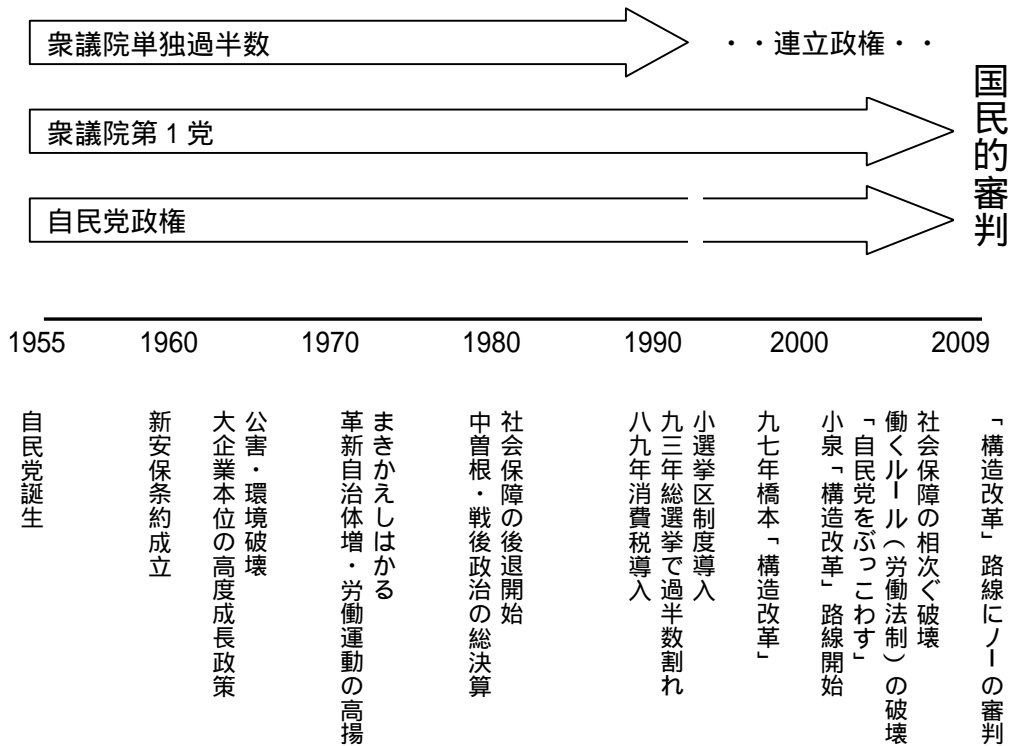
10 年間で積みました内部留保の 12.1% で可能



## 二。「昨年」と「今年」の違いを確認

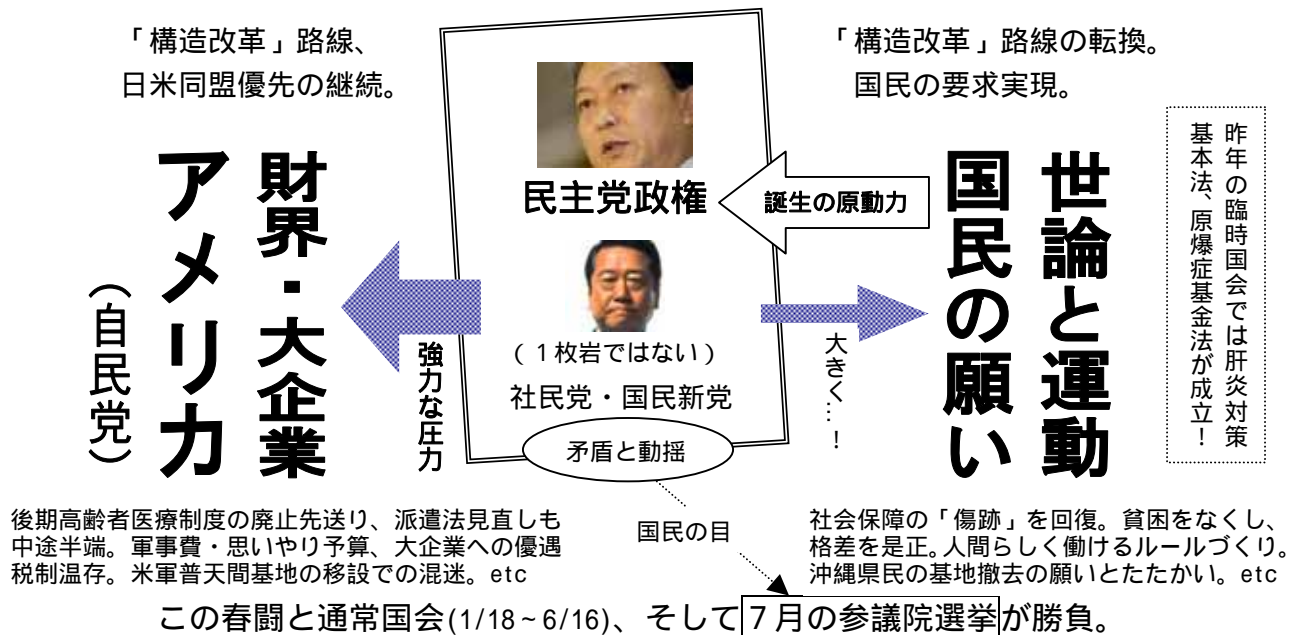
1. 転換の実現可能性 - 「可能性」を引き寄せた歴史的総選挙 (2009.8.30)  
なぜ「歴史的」か - 54年間続いた自民党政治に大きな審判

自民党政治の特徴は、日米同盟最優先、財界・大企業の利益の代弁者。



日本の政治は、新しい時期に突入。それを実現したのは国民の力。

2. 「転換」をめくっての、総力をあげた「つな引き」(激しいせめぎあい)



### 三。たたかいの課題

#### 1. 賃金をめぐるたたかい

県医労連の春闘アンケート集計では、賃上げ要求2万円以上が6割こえる。

\* 66%が「生活が苦しい」と回答。生活費の不足額は平均すると46,000円。

\* 診療報酬0.19%アップ(医科1.74%増)。10年ぶりの引き上げ。

「先進国と比較して低い医療費水準が長年続いたため、救急、産科、小児医療など医療現場の医療従事者の疲弊は著しく、国民の命を守るより良い医療を提供するための更なる検討や努力が必要です」(厚生労働省の見解。ホームページより)

診療報酬の引き上げ分は、医療労働者の賃上げ・処遇改善に!

あまりに低すぎる介護労働者の賃金の大幅アップを

\* 全産業平均(岡山)273,400円/月・・・介護労働者平均196,000円/月。

・その差、月77,400円。年間では110万円。志ある介護労働者が職場を去る現実....

・民主党は介護労働者の賃金を4万円引き上げるとマニフェストに明記。

#### 2. 増員をめぐるたたかい

看護職場の「2交替制」導入問題

\* 16時間夜勤は日本の看護師だけ(身体にも有害)

\* 働き続けるために 看護師の大幅増員を

すべての事業所で「介護労働者処遇改善交付金」の申請を

\* 介護労働者の処遇改善に一定の役割。制度の継続と改善も求める。

介護労働者の大幅増員で行き届いた介護の提供を

\* 慢性的な人手不足により、介護労働者の健康破壊も。5割の人が「腰痛」訴え。

切実な思いの言語化  
と交流、社会への発信  
が、たたかいの力に。

#### 3. 社会保障をめぐるたたかい

消費税に頼らない財源の確立。

\* 大企業に応分の負担を求める。体力は十分。

\* 働くルールの確立で、内需拡大のプラス循環に。

・ 内需拡大 景気回復 雇用の拡大 内需拡大 景気回復・・・ 税収の増加!



#### 4. 平和をめぐるたたかい

日米安保条約(今年で成立50年)は、世界にまれにみる不平等な軍事同盟。

米軍基地の面積と駐留米兵数、海兵隊と空母という「殴り込み」部隊の配備、

在日米軍による事件・事故の多発と屈辱的内容の日米地位協定、「世界一」

気前のよい在日米軍駐留経費負担、国民をあざむく「事前協議」制度、「米軍再編」の名での世界的な軍事共同体制の強化、経済的従属の「制度化」。

沖縄の普天間基地移設問題—無条件撤去が解決の道すじ

\* 「海兵隊は抑止力」という認識は誤り

軍事同盟がある国の人口は、すでに世界では少数(この半世紀で67% 16%)

「核のない世界」へ大きな飛躍の1年に

\* 5月にニューヨークで行なわれるNPT再検討会議へ、県内署名20万目標。

平和の問題でも  
大きな変化を  
起こすチャンス。

#### 5. 行動日程 - だれもが討議に参加し、行動への1歩を。

要求提出2月末まで。回答指定日3月24日(水)。産別統一行動3月25日(水)。